危険物　　　　　　　　　　実施計画書

（ドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱い）

別添２

仮貯蔵

仮取扱い

○○年○○月○○日

　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所　広島市○区○○町○丁目○番○号

　　　　　　届出者　氏　名　○○工業株式会社

　　　　　　　　　　　　　　　　　代表取締役　○○　○○

 　 　　　　　　　　　　電　話　（○○○）-○○○-○○○

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 貯蔵・取扱場所 | ○○市○○区○○町○○番○○号　○○工場東側空地（コンクリート舗装） | 防火地域別 | 用途地域別 |
| 準防火地域 | 近隣商業地域 |
| 貯蔵・取扱いに使用する部分の概　　　　　要 | 屋　内 | 敷地面積 | ㎡ | 屋　　外 | 敷地面積 | 約３６０㎡（○m×○m）㎡ |
| 建築面積 | ㎡ | 敷地の概要 | 別紙のとおり |
| 建物の概要 |  |
| 危険物の種別品名及び数量 | 第４類第１石油類（ガソリン）３，０００リットル |
| 目　　　　的 | 震災等により被災地においてガソリン等の燃料が不足した場合に災害復興支援車両等への燃料補給を行うことを目的とし、危険物施設以外の場所での一時的な貯蔵やドラム缶から手動ポンプ等を用いて金属携行缶への詰め替えを行い、仮設の燃料供給拠点として利用するために必要な事項を予め計画するものである。 |
| 貯蔵・取扱いの方　　　　　法 | ⑴　２００リットルの金属製容器（ドラム缶）にて貯蔵する。　⑵　保有空地を６ｍ確保する。　⑶　貯蔵場所と詰め替え場所に６ｍの離隔をとる。　⑷　高温になることを避けるため通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設置する。　⑸　標識・掲示板を設置し関係者に次の事項について注意喚起を行う。　　「危険物仮貯蔵・仮取扱所」、「品名・数量・倍数」、「火気厳禁」⑹　保有空地の周囲にバリケードを立て、空地を確保する。　⑺　敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。　⑻　作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。 |
| 安　全　対　策 | ⑴　ドラム本体、給油に使用するドラムポンプのアースを確保する。　⑵　危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者免状保有者が行う。　⑶　危険物を取り扱う者は、静電安全靴を着用する。 |
| 消防設備の状況 | 第五種消火設備　１０型粉末消火器　３本を設置する。 |
| 管理責任者（危険物取扱者） | 住所・氏名 | ○○市○○区○○町○○番○○号　　△△　△△ |
| 免状種類等 | 乙種４類・交付年月日　ｓ○○.○○.○○・交付番号　○○○○○○ |

備考　案内図、仮貯蔵・仮取扱い実施予定場所の構造図、敷地の見取り図、危険物取扱者の免状の写しを添付してください。

